

## ● ディテール

- 建築でディテールを話したらキリが無いのであるが、一般的なマンションの部材等の大半が、工業製品の中からのセレクトで成立しているが、今回は部材等においてもハンドメイド感ある部材やディテールを選定した。

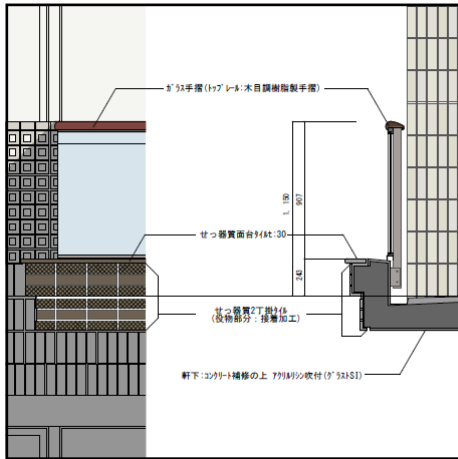
1つは、バルコニーの意匠である。

腰壁を当初は躯体で考えていたが外壁タイルの質感が重厚なため、バルコニーはあえてガラスを採用した。しかし、一般的なガラスのバルコニーではなく、笠木は木質等のラインを出すため、カイダー（木目調樹脂製笠木）を使った。更にバルコニーの鼻先（下端）は、水切りも兼ねた丸型面状タイルで水平面を出し、ボーダー状のせっ器質タイルを段状に重ね組積的構成を行い、ガラスと様式性のデザイン構成としている。

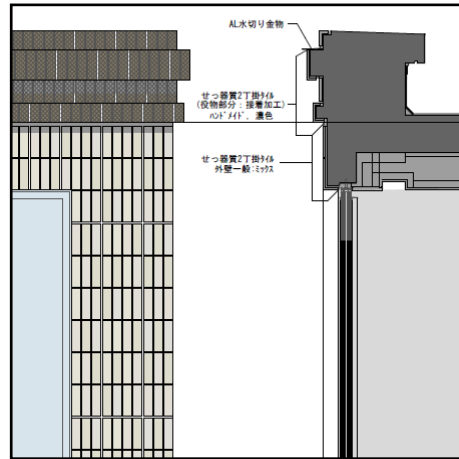
- 2つ目は、中庭に面した廊下の腰壁又バルコニーの手摺（一部）のデザインについて、ロートアルミの部材を用いてデザインを起こした。一般的なアルミの格子手摺からでは出来ないデザインである。

鋳物形状の各種部材断面のデザインを組み合わせる事により、外観デザインと呼応し、景観の一翼を担う事が出来た。

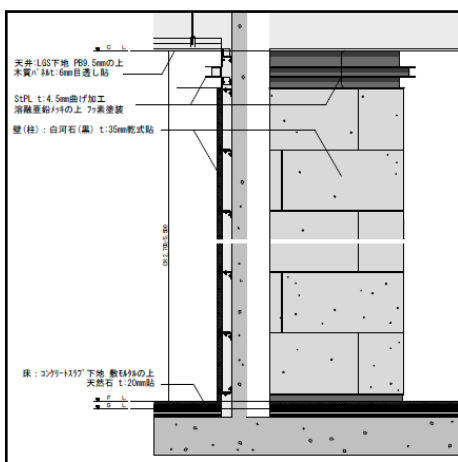
- 3つ目は、水平材（天井等）と垂直材（柱等）の取り合い部分について、スチールの曲材を様式的な装飾性を用いて見切り、白河石を用いた柱の存在感を強調させている。



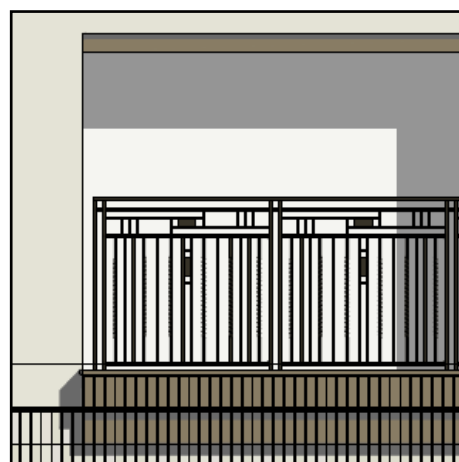
バルコニー断面



コーニス断面



柱ディテール



ロートアルミ手摺 (11階廊下)